

## 第Ⅲ部 自由記述欄の意見

# 自由記述欄の意見

アンケートの自由記述欄にはさまざまな意見が寄せられた。これを内容に即して以下の9つの項目に分類し、整理した。

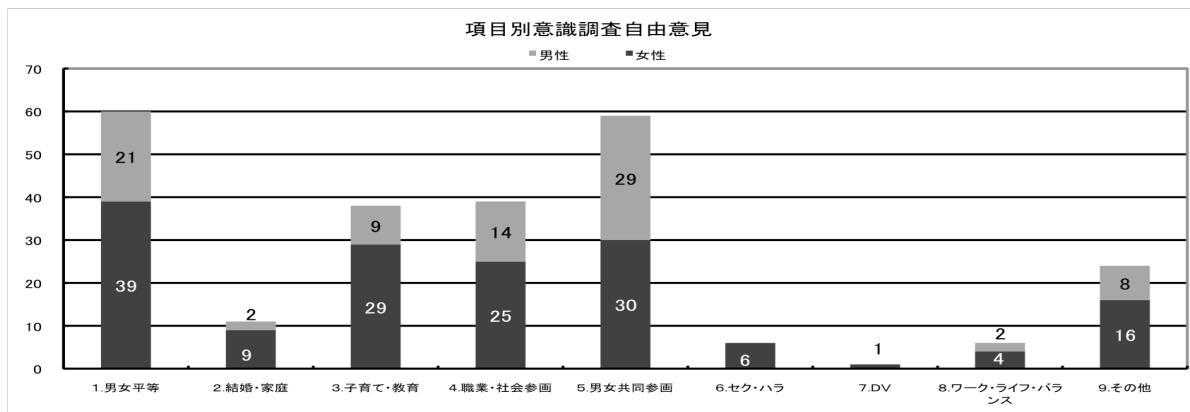
1. 男女平等に関する意見
2. 結婚・家庭に関する意見
3. 子育て・教育に関する意見
4. 職業・社会参画に関する意見
5. 男女共同参画の制度や施策に関する意見
6. セクシュアル・ハラスメントに関する意見
7. ドメスティック・バイオレンスに関する意見
8. ワーク・ライフ・バランスに関する意見
9. その他の意見

## 「男女平等」と「制度や施策」に関する意見が最も多い。

自由記述意見を、その内容の項目別(その他を除く)に見ると、「1. 男女平等」と「5. 男女共同参画の制度や施策」に関する意見が最も多く、次いで、「4. 職業・社会参画」「3. 子育て・教育」に関する意見であった。「6. セクシュアル・ハラスメント」「7. ドメスティック・バイオレンス」「8. ワーク・ライフ・バランス」などに関する意見は少なかった。

記述者は、女性が男性の倍近くに上っていた(回答者の比率以上)。年齢階層別には、40歳代～50歳代が相対的に多かったが、より若い世代、より高齢の世代の記述もあり、各年齢階層に広がった緩やかな台形状であった。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	小計	合計
20代	女性	6	0	5	2	8	2	0	2	0	25	30
	男性	2	0	0	0	3	0	0	0	0	5	
30代	女性	7	1	4	7	3	0	0	0	2	24	34
	男性	3	0	0	3	4	0	0	0	0	10	
40代	女性	8	4	7	5	5	4	1	1	2	37	59
	男性	4	1	4	5	5	0	0	2	1	22	
50代	女性	10	3	8	6	8	0	0	0	3	38	58
	男性	5	1	1	3	8	0	0	0	2	20	
60代	女性	7	0	4	2	5	0	0	1	5	24	45
	男性	5	0	3	3	7	0	0	0	3	21	
70代	女性	1	1	0	3	1	0	0	0	4	10	18
	男性	2	0	1	0	2	0	0	0	2	7	
?	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	女性	39	9	29	25	30	6	1	4	16	159	244
	男性	21	2	9	14	29	0	0	2	8	85	
合計		60	11	38	39	59	6	1	6	24	244	



## 1 男女平等に関する意見

### <女性>

- ・男女間の差別は、しかたのないこと。男が狩りをし、女が子を育てる。そもそも役割が違うのだから、尊重し合うべき。現代の先進国日本は、女の人の上に立ちたい気持ちや風潮が強すぎると思います。人を作るのは女性。女性はそこに自信を持ってばいいんです。きっと男性には、男性の世界がありますから。「家族のため」より「自分のため」な人が増えているのではと思います。子供のためにガマンするのは嫌とか。夫は夫、自分は自分とか。うまく言えませんが、自分がやらなければいけない事、やるべき事に楽しみを見出せない人が多いかと。(女性 20代)
- ・男女平等というのは、とても理想的な事だが仕事では男性、家庭では女性が優位に立つ事により社会のバランスがとれているのではないかと思う。男女平等というのは理想であり、実現することはとても困難な事だと思う。(女性 20代)
- ・法整備が進んでも、社会全体の意識が変わらないと、なかなか実現しないと思う。平等とはいっても男性優位の風潮は依然として根強く残っているように感じる。(女性 20代)
- ・男女共同参画はとても重要ですが、男女の体の違いからすべて平等に、ということは厳しいので、自由に選択していけたら良いと思います。(女性 20代)
- ・男・女というより、人間として1人1人の意識・考え方の問題。今は男も女もいろんな可能性があるから、別に分けて考えなくてもいいくらいじゃないかな？(女性 20代)
- ・男女は違うものなので、共同参画社会には100%賛成できません。(女性 20代)
- ・「男女共同参画」とは「男女の性別差をより強調すること」と、勘違いしている人が多いような気がします。(女性 30代)
- ・私は一人で、内職の収入しかないの、「男女共同参画」だなんて、難しいこと言っても、それは高齢者年金所得者のたしなみだ。とっております。(女性 30代)
- ・私は、男女平等は永遠に成り立たないものだと思います。平等にしようとするから、女性は育児に関心がなくなったり、男性は家庭を守る責任感がなくなったりすると思います。(一部の例ですが)男女平等を考える前に「男女尊重」を見なおすべきだと思います。尊重する事により男女お互いに助け合えるようになるのでは？(女性 30代)
- ・「男らしさ」「女らしさ」を認め合う社会がよいと思います。男女平等と権利を主張するよりも、お互いを思いやる社会になるといいと思います。(女性 30代)
- ・男女平等について、男性には男性の得意な部分があり、女性にも同じように女性の方が優れている部分があると思う。仕事量や責任を同じくしても平等とは少し違うと思う。性差にかかわらず、人としてお互いを尊重したり、認め合ったり出来る組織を目指せば、男女平等について不満を感じている人も満足するのではないのでしょうか。(女性 30代)
- ・今の学校はどうなっているかわからないが、保健の授業の時に男女別にして生理についての話などを女子生徒にだけする時があった。男子生徒に隠しても、男子なりに感じている所があるし、逆に性差の違いをはっきり感じさせられることになり変に意識をするだけだと思う。一緒に話を聞かせることで、性的役割を理解させ、将来家庭を持った時には夫婦で助け合って、家事・育児をするものだという事を覚えさせた方がいいと思う。性差はあるけれど、結婚して生活をしていくにはそれを越えて助け合うものだという事を教えた方がいいのではないかと。できる人ができることをする。これは当然のことなのだから。(女性 30代)
- ・高齢者の意識改革が必要だと感じる。以前より制度的にも整い、同年代の人達の意識変化は感じるが…。(女性 30代)
- ・掃除や整理整頓は、女性まかせのところがあります!!働く以上は、自分の机の上や使用したものだけでも、自分で片付けてほしいものです。(女性 40代)

- ・公務員なため、男女共同参画の立場は十分、自分ではかなえられていると思う。ただ現実的にまだまだ平等ではなく感じている方々もいることも認識しているつもりです。女性だからという理由で悔しい思いをしたことはないが、もっと危機感をもって生活しなければならないと感じた。(女性 40代)
- ・青森は田舎だからか、威張っている男の人が多と思います。私は主人が転勤族なので、色々な所(兵庫・名古屋・東京)をまわり住みましたが、ここではすごくそれを感じます。特に役職の高い人や医者、弁護士、議員の方々にそういう方が多いと感じます。こういう方々がまず変わらなければ実現は無理でしょう。(女性 40代)
- ・権利は平等でも能力は個々それぞれなので、平等のおしつけは良くないと思う。身体的能力は明らかに違う。家庭内での役割もそれぞれ能力に対応した分担をしていけばいい事だと思う。(女性 40代)
- ・今回の設問自体が女性を下に見ていると感じられました。男女平等になるには、まだまだ程遠いと思います。(女性 40代)
- ・男女平等と言われがちだが、女性が男性と同じ量の仕事出来るか疑問。事務職関係なら可能だが体力関係の仕事なら無理に決まっている。(女性 40代)
- ・男女平等がすべて良いとは思わない。(女性 40代)
- ・親の介護等、何かあれば娘や嫁や妻といった女性の手に思いっきり負担がかかって、精神的・肉体的に追いつめられていくのが現状です。(女性 40代)
- ・役所などの対応が女性だと軽く見られると、いつも思っています。(女性 50代)
- ・男女の性を越え、能力時代になったのでは？(女性 50代)
- ・今の時代でも女の人は損だと思えます。仕事・家事・育児みんな女の人がやらなければならないからです。(女性 50代)
- ・我が家は3世代で生活しています。義父母は男尊女卑世代です。古い世代には平等という意識がなく、孫への対応もそんな感じです。意識改革は難しいのではないのでしょうか。(女性 50代)
- ・まだまだ男女平等には、かけ離れた社会だと思います。男女が共に子育てを充実させ、社会に参加しながら家庭生活を安心して持てるようにしてほしいと思います。(女性 50代)
- ・男性には男性の良さがあり、女性には女性の良さがあるので、それを無視して男女平等はいかなるものかと考えています。それぞれの特性を生かした、男女共同参画社会の実現が、望ましいと思います。(女性 50代)
- ・男女平等とは言え、まだまだ男優先の事がいっぱいあります。いつになったら、本当に平等と言う言葉があてはまるかわかりません。特に田舎の方に行けばまだ男がいばっている考え方です。私も長男の嫁でいつも損をしています。早く女の総理大臣が出てきてほしいです。(女性 50代)
- ・男女平等とは言え、そもそも同じでないのだから、それぞれの持つ特性を生かした生活・仕事の仕方があっていいと思う。それを望むなら、それも認めますよ的に、何でも同じにするのはいかなるものか？(女性 50代)
- ・相手に対する(小さな)思いやりの心がなくなっていると思います。男女間だけではなく、人と人、両方が相手を思いやることで和が生まれると感じています。40代後半～50代の人にとっては、とても微妙な立場で男女共同参画社会については、よくわかるが、一步踏み出せない部分もあるのではないのでしょうか。一步踏み出すきっかけを作ることも必要なかな～！相手を思いやる事を実行しているのですが、一方通行が多いために日々かなりのストレスとなっている今日この頃です。(女性 50代)
- ・こういうテーマを考えた事がなかった。自分の為にも、よかった。(女性 50代)
- ・私は男女平等と言うことは大変良いことだと思いますが、まだ「男は強し」的な考えの人が多いのは残念です。私達の年代(60代)はそのような時代で周りの人達も女は耐えるのみとして見てきました。これからの社会はそれではいけないと思います。(女性 60代)
- ・私達の時代とちがいで、今は共働きの夫婦が多くなっている。2人で共に子育て、家事を協力している若

い人を見ると素晴らしい事だと思います。と同時に、家の中に大黒柱が不在になったように感じます。何か重大な事が起きた時に、2人で解決していく事が望ましいのですが、とにかく誰かに頼ってしまいがちです。私としては、やはりデンツと家の中にいてくれる人も必要と思います。それが、これからの時代は、男とかぎらず、そんな女も出現してほしいと思います。(女性 60代)

- ・男女共同参画、聞こえはよいが、世の中そんなに甘くない。まだまだ男女の差別はあります。特に家庭内・家事の面では、女性がやる仕事と決めつけています。(女性 60代)
- ・男女平等は確かに必要な考えではあるが、男女の特性が違うという厳然とした事実はある。現在、すでに男女共同参画社会は実現されたと私的には思っている。それよりも現在の不況をいかにすべきか？それが問題であると思っている。(女性 60代)
- ・職場により格差があり過ぎる。夫の方もかなり、協力してきている。(若夫婦の方は、逆転しています)現実社会を見る限り、やむを得ない部分が多い。理想を実践公開しつつ、現実の社会では厳しい所ですが、頑張してほしい。男女共同参画社会の実現と云う事ですが、私の家では少なくとも、女性上位になっていると思います。(食事の世話、掃除、布団敷き、風呂に入れて上げる、その他多く)嫁の方は、残業が多い事もあります。男女共同以上です。(女性 60代)
- ・「男女共同参画社会」とても聞こえが良いのですが、60代の私は、古いと思われるかも知れませんが、ある意味で世の中の乱れの一因とも思われます。女だって、何をやっても良いのではないかと間違った考えを持った若者、子供の育児を放棄し、家庭の仕事それは何から何まで大変な事です。全く出来ず、働いておしゃれな流行を身につけ、学校が悪い、そんな母親が増えています。家族との強調性もなく、自分は働いているからと意識が別な方向へ行っているのも事実ではないでしょうか。女性の地位は上がって、それなりに認められる社会になりましたが、女性は働くのは経済的理由で、これが現実です。男性も昔とは違い家庭の事も精一杯努力していると思います。(女性 60代)
- ・家に、お母さんがいる。妻がいつでもいること、とても幸せ。お年寄りも安心して住み慣れた家で過ごせる。余裕が出来たら、女の方も各方面にどんどん参画してほしい。とにかく、女の方は、家庭を第一に、家庭の幸せを考えてやっていったら、みんな幸せに繋がって穏やかな世になると思います。あまり、男女平等と考えず、まず男の方をたてると自然とその心が女の方に返って来て、みんな丸く収まるように思います。いくら頑張っても男にはなれず、女にもなれません。男性は仕事、女性は家事・育児・子育てに一生懸命頑張った方が良い気がする。特別な能力のある場合は、その限りでない。役所に勤めていた時は、時間も休日もしっかりと休んでいましたし、母もおりましたので何も問題はありませんでした。都合により商売をしてからは、やっぱり女は仕事より家のことをしっかりとゆとりを持って、家族みんなのため頑張った方がいいなあと思いました。(女性 60代)
- ・あまりに男女平等をさげび過ぎていると思う。多少男性優位の方が世の中うまくいくと思う。(女性 70代)

## <男性>

- ・「男性は〇〇、女性は〇〇」といった感じで、マスコミはあまりにも大げさに報道をしている感じが個人的にはします。(男性 20代)
- ・男女共同参画社会の実現には、男性・女性ともに意識を変えることが大事だと思います。(男性 20代)
- ・人間が本来持っている性別による特性を、考慮せず闇雲に平等・平等と唱え、無理にそうしようとすることによる「歪み」が出てくるように又は、出てきているようにも見える。(男性 30代)
- ・今はまだまだ男尊女卑的な考え方が根付いていると思いますが、いつかは自然に男女平等である社会が出来ることを願っています。(男性 30代)
- ・男女共同参画と男女平等が同じ意味と、とらえている人が多いと思う。男女はもともと違うので、違ってあたりまえだし、それに合った社会であるのもあたりまえです。ただし、男女平等は法律上の事

であって、男女共同参画社会は、社会をうまく動かす事だと思います。なんでもかんでも男女が同じとか共同参画とかは、どうかと思います。基本的には妻が家事・育児などの担当が一番なのですが、夫が家計を支え、なおかつ家事・育児にも分担ではなく出来る範囲でいいので協力するのがいいと思います。妻は家事・育児に専念してもらおうほうが安心します。(男性 30代)

- ・平等を求めるのは自由だが、都合の良い時(悪い時)だけ「女だから」という甘えをなくしてほしいものだ、時々思う。(男性 40代)
- ・私は男なのであまり感じないが、女の人から見ると、まだまだ差別とかあるのかもしれない。一番の障壁は、人々の考え方(=世間)だと思う。(男性 40代)
- ・家計を支えるのも、家事・育児もそれぞれ適した能力を持つ方が受け持つのが良い。共に働き、共に家事をするのが基本で、より稼げる方がより働き、家事にしても料理や掃除など得意(好き)な方がやる。夫婦が共同で行うことを前提とはしない。あくまでも能力を有する方が受け持つ。(男性 40代)
- ・必ずしも男女平等というのではなく、各個人の仕事・家庭の男女の役割は様々だと思います。男でなければできない事、女でなければ出来ない事も数多くあると思います。社会的にもっと安定し、仕事は金ばかりに目がいってしまう現実には男女ともにストレスを貯め、ギクシャクしたようになり、早く安定した社会にと希望します。(男性 40代)
- ・男の多い職場なので、あまり考えられない。男に向く仕事、女に向く仕事があると思うので、適材適所で良いのではないかと。(男性 50代)
- ・この男女共同参画に関する意識調査のアンケートがくるまで考えたことがなかった。これからは、男女共同参画について考えたいと思います。(男性 50代)
- ・実際として、職場・社会的地位を見た場合、どうしても女性は低い立場に置かれていると思う。産休・子育て・家事などの仕事が一番優先だから、家庭だと2人で分担すれば出来るけれども、職場・社会では女性が認められるには、たとえ能力は男性以上であっても、マイナス面があるから、未婚だったら男性と同等以上の仕事が出来ると思う。(男性 50代)
- ・「男女が平等=男女が同じ」ということではないと思います。男と女は違うものであることを明確にした上で、平等とは何なのか考える時期に来ていると思います。動物として性の違いはハッキリしています。人間としても脳の構造からして違うべきですから、個人差はありますが、果たすべき役割も違うはずで。又「男の子らしく」「女の子らしく」ということもすべて悪ではないと考えています。「男女平等とはどういうことか」皆で考えるべきだと思います。(男性 50代)
- ・男女平等とあまり騒ぎすぎだと思ふ。根本的に男女はちがうもの。互いに補い合うのが、本質だと思ふ。(男性 50代)
- ・62才になった今現在、「男女共同参画社会」の実現はけっこう進んできていると思うのだが。子供の頃はよく「女のくせに」「男のくせに」とか無意識に使ったりしたものだが、今の世では使うことはない。使うべきではないと意識の底で思っているからと思う。世の指向の方向性が正しいからと思う。ただ天下一日本国税にたかる虫を減らさねばならない。弱い国民でも正しく生きる道を。(男性 60代)
- ・男女共同参画社会は徐々に進んでいると思う。将来、逆転する可能性があると思う。(男性 60代)
- ・「男は度胸、女は愛敬」という言葉がある。豊かな男女共同参画社会の実現のために含蓄のある言葉と思う。(男性 60代)
- ・報道、メディアの内容や方法で、旧来の男女の役割分担をそのままあるいは、助長していることが多い。修正するよう、市民の働きかけや注意システムが必要と思う。(男性 60代)
- ・能力の有る女性は、その地位を引き上げていく必要があると思うが、現実はまだ遠い。結婚したら、男性はそれなりの責任が必要であるのは当然であるが、女性も男性を敬う気性が重要である。(最近、壊れてきている。)女性の地位向上と未婚は比例していくと思う。残念ながら現代女性の特徴として生活力があれば煩わしさを嫌う傾向が強い。(男性 60代)

- ・一部では進んでいるかも知れないが、社会全体に進んでいるように感じられない。(男性 70代)
- ・何故、「男女」とこだわるのか。根本的に男女は別なのである。それを無理に共同とか、うわべを繕おうとするのがおかしい。そもそも異なる男女が自然に一つになるのが望ましい姿であり、進もうと努めているのではあるまいか。一部の男女がお利口さんに理屈をこねるのを辞めれば世の中もっと良くなりますよ。(男性 70代)

## 2 結婚・家庭に関する意見

### <女性>

- ・結婚して家庭を持つことが出来ない(しない)男女や、子供が出来ない(あえて作らない)夫婦など、「家族」のあり方が多様になっていると感じている。(女性 30代)
- ・家族は多い程、楽しいものだったり、大変だったりするもの。しかし、核家族化で、自分(40歳代)の周りの方でも、子供の育て方に、自信がないと出産をしない人もいます。子供がいて楽しいとかではなく、社会のお金をかけての娯楽が(便利で楽しくていいが)、充実しすぎ。その為、結婚しない人や、子供を作らない人もいるのだと思います。(女性 40代)
- ・私が小さい頃、よく祖母に世話になった頃を楽しく感じる。今はだれも助けてくれない。つらい。だから子供はいらないと思うか、1人でいいと思ってしまう。だれか家族の中で助けてくれる人がいないと無理だ。今もすごくつらい。男女問題より嫁姑の方が一番つらい。そちらをどうにかして欲しい。(女性 40代)
- ・家庭に男性を参加させることは大賛成！何より、本人の為でもある。(女性 40代)
- ・結婚して仕事をやめて以来、職についたことがないので、大した意見も言えず申し訳ありません。専業主婦は、社会からとり残されているように感じるここ最近です。私は、初めから専業主婦にと思ったわけではなくて、当初子育てが一段落したら、また何かの形で社会に出たいと思っていたのですが、二人目を生んで、その子が重度の障害をもっていることがわかり、上の子もいくらか遅れぎみだというのがわかった段階で、社会に出て、たとえパートであろうと働くのは無理だなとあきらめました。同じようにしている人達も何人もいます。正直うらやましく思ったことも何回かはありましたが、ずっと子供のそばで、成長を見守れたことで、埋め合わせになりました。ただ私が専業主婦となってしまったことが、家の中の事は、家事・育児・近所の付き合いなど、全部私の役目になってしまったことが大変でした。ただでさえ、初めての子育てで、何もわからないのに、南部の方から嫁にきて、地理もわからず、下の子の障害をどう受け止めていいのか、主人には話しても、相手してもらえず(たぶん今考えると、主人は新しい職場や子供のことで、心に受け入れてきていない状態だったのだと思います)とても辛い日々でした。その頃は、給料も少なく、家計も火の車でした。まわりは、夫婦共働きが多くて、家に子供がいる私は、話せる友達もいなかった。やっと子供達も高校生になり、なんとか自分の時間をもてるかなと喜んだのもつかの間、今度は主人の方の両親、私の方の両親が介護が必要になる時期になっていました。主人は働いているので、会社の付き合いや出張があれば、家をあけますが、私はそうはいかず、不平等を感じています。夜、子供を主人にお願いして、気晴らしに出かけようとすると、すごーくいやーな顔をされました。自分は「仕事だから」の一言で、すべて収まると考える男性優位主義者の主人です。(笑)(女性 40代)
- ・現在は、核家族が多くなって、同居して大家族がなくなりましたが、お年寄りには孫がかわいいのでやさしくなり、子供達もわりとやさしい子に育っていると思うのですが。不平不満も沢山あるけど、にぎやかで好きですね。自分も年をとって老いてきたからそう思うのかも知れないけど、老人になってから老人ホームではさびしいと思いませんか!?介護の毎日大変だけど、そこは一日預かれるとか、自宅介護できる生活の余裕があればできるけど、それもむずかしいですね。でも男も女もやはりお互いに助け

合って、その気持ちがいちばん大切な…と思います。(女性 50 才)

- ・男女共同参画は社会的な事だけではなく、家庭でこそ必要だと思います。2人で暮らす老後の為に、一緒に家事をすることが大事で、特に炊事は必要だと思います。働いている時から、先に帰った方が食事のしたくをすることが、あたりまえになってほしいものです。介護が必要になった時、今の制度で間に合うか不安です。(女性 50 代)
- ・昔々の女性の立場から見ますと、離婚も自由になり、結婚も女性が選べる時代となり、女性にとって、生きるために結婚と考えない時代になった事は喜ばしいが、男性の中で結婚できない人が増えている事は、見逃せない。結婚への新しい感覚が出てきたのでしょうか。(女性 50 代)
- ・男女共同参画社会はこれからの人達には、ぜひ熱心に取り組んでほしい。仕事も結婚も若いうちにとします。給料も少ないでしょうが、男も女も助け合って子育てや家事にも力を入れ、新しい生き方をしよう心がけてもらいたい。(女性 70 代)

### <男性>

- ・出会いがない。結婚したい人はいっぱいいると思うけど選びすぎだと思います。高のぞみしているのだと思います。(男性 40 代)
- ・男女平等は勿論必要ですが、女性の社会的地位が高くなっている所以女性の適齢期の方が結婚をする人が少なくなっています。また逆に、20才前後の女性が結婚・出産後離婚する人が多いのが気になります。(男性 50 代)

## 3 子育て・教育に関する意見

### <女性>

- ・子育ては、決して負担なんかではないという事を、もっと世の中の女性に感じてほしいと思います。(女性 20 代)
- ・子育てのしやすいように、公園をもう少し増やしてほしい。私は、車の免許もなく、車の移動ではなく、自転車での移動なのですが、どうしても、子供と一緒になので荷物が多いと大変で、配達サービスなどがあれば、お年寄りの方も助かると思います。(女性 20 代)
- ・看護師のため、女性の多い職場ですが、出産・育児していく上での環境としては、とても厳しいと思います。皆でフォローし合ってはいますが、どうしても独身者や育児がおちついた人への負担が大きくなることもあるし、妊婦や産休明けの人も無理をしている状況にあります。夜勤もあるため体への負担も大きいです。小さい子が、幼稚園や学校で発熱などの急病になると連絡がくるのは母親の方が多いと思います。そのような時に、働く母が遠慮せず休みや早退できるような環境の整備と他の人の負担の軽減がとても大切だと思います。(女性 20 代)
- ・保育所の不足または、定員オーバーで入りたい所に入れない場合がある。保育時間がもう少し幅があれば、仕事にも余裕ができるのでは。(女性 20 代)
- ・保育園などが少なかったり、不況はわかっているが、仕事が少なかったり、結婚・出産をしたくても出来ない状況がつくられてしまっている。(女性 20 代)
- ・育児の負担は女性にかかってくることが多いと思われる。特に子供が病気になったとき、仕事を休まざるを得ないのは、女性の方が多いのではないだろうか。(女性 30 代)
- ・実際、我々夫婦が子供を作らないのには理由がある。それは、主人の給与が妻より少ないこと。貯金(子供を産んで、育てていくための資金)がないこと。育児休暇がとりづらい環境(夫婦共に)がある。自分たちが生活する事でいっぱいいっぱい、万が一子供を産んでも自信をもって育て上げられるほどの余裕がありません。出産費用と扶養手当だけでは片付けられない問題だと思います。(女性 30 代)



- ・教育の現場は、男女反対の方向へ動いています。(個人評価・免許講習・授業時間の増加)産休や育休をとることで、臨時雇用は増えるのですが、その財源はどこから?いろいろと解決できないことが多いですね。(女性 30代)
- ・もっと子育て世代に、優しい県であってほしい。他県(福井県)だったかな?子供=宝と考えが強く、出産したら祝い金が頂けたり、サービスが充実していたり、我が家の場合、乳幼児医療の助成の対象になっていないけど、医療費にかかるお金が多くて、毎月困ったり、とにかく子供を育てるのに、こんなにも金がかかるものなのか〜、と身をもって実感。(女性 30代)
- ・女性の働く職場の近くに、託児所や児童館のような、子供を安心して預けられる場所があるとよい。例えば、小学校の一室を児童館のようにするとか、改めて建物をつくるよりは、ある建物を利用すると、お金もかからないし、いいと思う。子供の面倒を見るのは、小学校の先生を退職した人などのボランティアでありながら、プロの人がよい。(女性 40代)
- ・男女の事ばかりではなくて、祖母や祖父が子供の手伝いや、子育てを手伝うようにならないと無理だと感じました。核家族であろうとなかろうと、自分達だけで生活するのはつらすぎる。男に協力しろと言っても出来ないで祖父母教室やそういう意識がもてる社会でないと子供も親も良くなっていけない。だからストレスも感じて喧嘩もするし、子供もほっておかれる。(女性 40代)
- ・難しいと思うが、核家族の増えている現在。夫も家事・育児に手を貸すべきだと思うが・・・子供は1人だけ状態なのが現実です。(女性 40代)
- ・母子家庭で2人の子育てをしました。上は社会人となり、下の子は高校生。幼少時、生活の為仕事が優先で気持ちに余裕がなく、反省する事もたくさんありました。(女性 40代)
- ・生活の為に働くのに、子供を保育園に入れると、保育料がとても高く、働く意味がなくなるので子育て支援に力を入れてほしい。(女性 40代)
- ・(1人の女性が一生の間に産む子どもの数が年々減少してきていますが、原因は何だと思いますか)は、一部の人にしては、悲痛な設問だと思います。(女性 40代)
- ・自分のやりたいことを犠牲にしてまで子供を産もうと考える人が減った。子供の将来が幸せであるという希望を持ちづらい社会になったため、出産をためらう人が増えた。若者が高齢者を支える今の社会の仕組みでは、我が子にいずれ来る苦勞が不安であるため。(女性 40代)
- ・「妻の親」の様な社会の応援が欲しい。仕事・家事に余裕ができたらもっと子供に目を向け躰や会話が必要。(女性 50代)
- ・保育所を増やして、子育て支援をして欲しい。老後が大変不安です。(女性 50代)
- ・女の人が安心して子供を産み、子育て出来る世の中のしくみがしっかり出来ること。家庭がしっかりしていないと、世の中から犯罪がなくならないと思う。(女性 50代)
- ・仕事も、家庭も、大切な事だけど、一番大事な事は、人づくりだと思います。健全な人間がいれば全てうまくいくと思うから。心が豊かな、人づくりが出来ればと思います。当たり前のことを当たり前人の痛みのわかる人間。そのためには、幼児期に愛情を充分にあたえる事の出来る家庭環境が必要。親も含め、安心できる環境。経済的安定。(女性 50代)
- ・核家族になり、出産後身の回りの事を手伝ってくれる人がいない。例えば、出産入院時に上の子供を預ける事が出来ない。退院後、身の回りの事をしてもらう事が出来ず、家事・育児をすぐしなくてはならず、産後の大切なときに体を休めることができない。私の場合、又、今離れている息子夫婦の事を思うと痛切に感じます。(女性 50代)
- ・経済的に苦しいので仕事を続けていますが、自分の子供達は男の子も家庭の事を出来るようになってほしいと思っています。(主人はまったく出来ません)もう少し生活しやすい社会になってほしいです。(女性 50代)
- ・私達の年代でも男女差別はいっぱいある。やはり子供のうちにそういう知識を教えていくべき。男女共

同というか人間として共同していく考え方、相手の身になって思いやりをもって接していくのに男も女もないのかもしれませんが。(女性 50代)

- ・私は、S28年生まれです。どうしても、男性・女性が同じ位置にいる事は考えにくいです。なぜなら、子供は母親を必要としているからです。自分も、母親の愛情で育てられてきている様に思っています。父親とのバランスがよくとられている家庭は、道徳的に生きられる様に思います。今は女性が出すぎて家庭を失っている様に思います。収入で得られないものが重要ではないでしょうか？(女性 50代)
- ・男女共同参画と言っていますが、やはり男は仕事を頑張り、女は家庭をしっかり守り、子供は勉強も大事ですが生きていくためのしつけが一番大事と考えます。(女性 60代)
- ・保育所に勤めている人でも、出産するというと嫌な顔をされ、正社員からパートにされる。2人目3人目を産めない人がたくさんいる。安心して産める状況ではない。(女性 60代)
- ・先生など公務員の人は産まれても1年間休めますが、普通の会社だと2カ月しか休めない。とても矛盾している。(女性 60代)
- ・女性の意識が変わり、いろいろ理由をつけていること。産んで一生懸命頑張ればいくらでも育てられます。夫には一生懸命働いていただいて、妻は子供を産んで、一生懸命みんなで子供達を育てて欲しい。昔の方達は、五人も六人も産んで立派に育てております。頭が下がります。あんまり深く考えずに、賑やかな家庭を築いて欲しい。(女性 60代)
- ・少子化だというのが、現実的に経済的なことや、お世話する人が必要で、個人的にもそういう面では不敏さを感じた。先の事を考えれば学費などのことも不安になるが、例えば、経済的に苦しくても子供が成長するまで(18~20歳くらいまで)費用を出して、子供がちゃんと平等に(経済的に豊かな人も、勿論そうでない人も)学んでいける社会が理想。フランスなどはその制度があり、少子化が少なくなったと聞いた。(大学まで学費が無料)ここはフランスではないですが、そんな制度があったら、自分もあと1人か2人子供は欲しいと思っている。しかし、それは今は無理だと思うが、これからの子供達に十分な教育を受けさせてあげたいと思います。そんな環境を与えてあげられる未来が来ることを望んでやみません。(女性 ?代)

## <男性>

- ・平等を求め仕事に没頭する反面、家事や子供の学校行事に参加する事がなくなるのはどうかと思う。お金だけ与えてすませる、子供への無関心がどれだけの影響を与えているのか、まず考えるべきだ。子供を見れば親がわかる。PTAの状況を知るとおのずと見えてくる家庭環境はすごいものがある。平等を求める前に、まず人の子の親であってほしいと近頃つくづく思っています。(男性 40代)
- ・保育園が足りない(裏口等のうわさを良く聞く)。保育料負担が大きい。(男性 40代)
- ・悪いとは言わないが、現状の子供たちを見ると、母親の教育が重要と考える。(男性 40代)
- ・父子家庭にも生活保護がほしい。収入以上に出費がかさみ、年中仕事と家事でつかれている。(男性 40代)
- ・こういうことをしているからおかしいのでは？性の乱れが国を滅ぼすといいますから。お金が全て！物が全て！という時代は終わっているのに、平成21年になってもこうです。テレビがつまらない。くだらないお笑いとか安価な番組作りでそれを流している。これはマスコミが一番悪い。新聞の報道にも問題があると思います。男女平等は昔からあるのです。それを知らない者が多すぎる。明治天皇はなんのために教育勅語を作られたのか。わかっておらず、戦後はこんないきすぎた男女平等を言っている教育のあり方がおかしいと思う。(男性 50代)
- ・子育てがおろそかになっている。社会的に心ない“言動”が多すぎ。教育上よろしくない。我がままな女性の生活態度がそのまま子育てに表れています。沢山の勉強の場、道徳教育の場を設けるべき。(男性 60代)

- ・長期的に幼児からの意識を教育する必要がある、長期・短期の2段階で考える必要があると思う。（男性 60代）
- ・親は子供に子供の時から、男の仕事・女の仕事と区別せず思いやりがあれば、相手に手伝いする気持ちが湧いてくる子育てが大事だと思います。それも職場が忙しくてギスギスしていると家へ帰ってまでも、その余裕がなく大事な家庭が和やかになれない。もっと和やかなあたたかい職場であるよう望んでいます。（男性 60代）
- ・政治と教育がもっともっとしっかりすべき。今の教育は反国民意識の人が多すぎ。国民1人1人が国を愛し国民を愛するような意識を教えるべき。（男性 70代）

## 4 職業・社会参画に関する意見

### <女性>

- ・ちなみに私は入社7年目。未だに契約社員…。仕事内容は社員と同じ。差別確実です。（女性 20代）
- ・育休や産休の後の社会復帰について…戻りにくいと思う。全ての人の意識改革が必要。私もそのため、結婚はできないと考えている。（女性 20代）
- ・現在は、内職をやっとみつけて、子供達が寝てから8時間も寝ないで作業しています。在宅で育児をしながらも働ける仕事を、どんどん教えてほしい。あつてほしい。外に出ない(働かない)のは時間が合わないことと、子供の成長をなるべく見守っていきたいから。それでも何かしないとやっていけなく、毎日もんもんと生活しています。こんな毎日です。（女性 30代）
- ・病院でのおむつの取り替えは、全病院同性にしてください。（女性 30代）
- ・現在、私は公務員の夫の2・3年で転勤がある事もあり、希望してパートをして仕事をしていますが同じ職場のパートの方でも家計を主に支えなければいけない女性の方は、有休もとれるはずだし、給料ももっとしっかりした職に就きたいが、そういう仕事はみつからないのが現状だと言っている。私が今、働いている職場は、少し前に経営者が変わったおかげで、雇用保険に入れるようになったが、それまでは、雇用保険に入りたいと言った人がいるにも関わらず、かけたいなら別の所で働けばというニュアンスの言葉が返ってきたと言っていました。労働時間からみても有休もとれるはずなのに、実際はそんなものはありません。この不況もあって、女性のフルタイムでの仕事はあまり求人数もないですし、新聞やニュースで妊娠により失職や不利益をこうむる女性が多数いる現状で果たして子供を安心して産める社会と言えるのでしょうか。（女性 30代）
- ・女性はアルバイト・パートの時給が低い。（女性 30代）
- ・男女が平等に参加しやすい職場づくりが進められている中、男女問わず夜遅くまで働かされるなど、負の側面まで背負わされていると思う。働きやすい環境をつくることを同時に怠るべきではない。（女性 30代）
- ・教員をしている者ですが、福利厚生はとても恵まれている環境にあると思います。しかし、仕事への責任から、現場では、自分の子供と過ごす時間やそのやりくりで苦労している方が多いと思います。男性・女性に関わらず、人材不足によって仕事の量が増えている会社が多いと思います。雇用を増やすことが大切だと思う反面、無駄な業務を減らすことはとても大切だと思います。（女性 30代）
- ・職場では男性優位の考え方はなくなっていない。一見制度上等でも男女平等とは言われても「女のくせに生意気だ」と言われたり、頭ごなしに無能扱いされたりというのはなかなかなくなるだろう。管理職自身がそれでは雰囲気改善されるわけがない。女性は表面では笑顔をつとめ、心の中ではグッと我慢しこらえて、日々努力している人が多いのではないだろうか。（女性 30代）
- ・私は自営なので、子供が病気になったり、親に何かあっても、時間的なものはどうにでもなりますが、友人は子供の入院で仕事を辞めました。そういう事があると、女は大変だなあ。と思うし、次の仕事も今

- はすぐみつかる時代でもない。私も時間的余裕はあるが、金銭的余裕はまったくない。(女性 40代)
- ・タバコは、まだ職場が禁煙になっていません。(分煙も含む)自分が吸うから…だけの男性群の意見のみを優先させるのではなく、吸わない人(男性も含むが主に女性)の立場も考えてほしいものです!これは、ちょっとした心遣いで改善されるものと上司に訴えてきましたが、未だ改善されず!どうしたら改善できるのでしょうか?(女性 40才)
  - ・雇用する側、される側のどちら共、意識を変えなければ実現は難しいと思います。環境の整備も大切ですが、個人の意識の格差も変えていかなければならないと思います。(女性 40代)
  - ・平等の考えはOKですが、本来、男女の違い(体力等)はあるし、民間企業で女性は50才を超えると働く場所も更年期等で平等とはならない。若いうちは、夫婦共同に分担しても違いは出てくる。(女性 40代)
  - ・小さな集落に住んでいます。地元の方(特に男)は、他からきた人(特に女)を同じ地域住人とは認めない。「馴染めない」のではなく、馴染ませてくれない。(女性 40代)
  - ・現実は大変きびしい。公務員と一般企業は比べられない。(女性 50代)
  - ・月に10日程、外に出て仕事をし、残りは内職しているが、家の中のことは全て私の仕事で、布団を敷くのも、電球を取り替えるのも全てです。勿論子育ても(若い頃から)。息子夫婦はよく協力し合って生活しているので、うらやましく思います。男性の意識を変えていかなければ、いつまでたっても女性に負担がかかると思う。(働きながら、家事・育児は思っている以上に大変です)(女性 50代)
  - ・古い考えかもわかりませんが、私は男女共同参画社会にはあまり協力的ではない。最近ではむしろ女の方が強いように思う。親が働くには子供が安心して預けられる保育所がある事。企業がもっと元気になれる事。私どもの二・三人しかいない所で、一人でも休まれると倒産です。(女性 50代)
  - ・男女共に個々に社会に対して興味を持って、自分の出来る事に積極的に参加するよう意識する事が大事だと思います。人まかせにしない事だと思います。(女性 50代)
  - ・「男女平等」と言われているなか、職種によっては絶対にありえない現実があります。デスクワークなら、まず問題はないでしょうが、労務職系の仕事だと、やはり男性優位です。(女性 50代)
  - ・女が家事・育児両立は大変!!フルタイムで働こうとするなら、妻の親が家事・育児のサポートしてくれると一番うれしい。(女性 50代)
  - ・働く職場の環境作り・就職難のないよう、取り組んでほしい。(女性 60代)
  - ・男女共同参画よりも、男性に仕事出来る安心な生活がほしい。(女性 60代)
  - ・各人が働きやすい事を、皆で取り組んでいく事ではないでしょうか。(女性 70代)
  - ・女性自身が経済力をつけたり、知識技術を得るなど積極的に能力の向上を図ること。(女性 70代)
  - ・雇用条件等、働きやすい職場環境を整えることは必要だと思う。(女性 70代)

## <男性>

- ・家庭だけでなく、社会の中でも女性が多く活躍していますが、まだ女性に対する偏見(女性は家庭)が多い様に感じます。もっと女性にも男性と同様の地位や賃金をあたえても良いと思います。又、男性にない考えもあるかと思います。(男性 30代)
- ・家庭では、男女共同という事が浸透して来ているとは思いますが、まだ社会、とくに会社(男性が多い職場)的には男女共同は、まだまだ進んでいないと思います。是非、男女共同参画社会実現に向け、がんばってほしいと思います。(男性 30代)
- ・男女共同参画の前にまず雇用の拡充!!(男性 30代)
- ・女性のやる気が一番です。社会が厳しいものだという女性への教育が必要。女性も仕事を選びすぎていると思います。男性の仕事の質が半世紀前と現在では、まったく違う。非常に高度化している。(男性 40代)
- ・女性重視で、給料が同じなのに力仕事はしないのに、お茶とかは入れてくれない。(パワーハラスメント・

セクハラ等の理由)。すべて男女平等にすべき。(男性 40代)

- ・私の勤める会社は家族経営の小さな会社です。利益優先で今では日曜日、現場へ移動します。したがって休日とは名ばかりで、ほとんど休みがありません。家のことはもちろん、社会活動も出ていないのが現状です。おのずと妻への負担も大きくなります。(男性 40代)
- ・女性には出来ない仕事(力仕事等)はあると思う。仕事量が少なく、休みが多く、収入が減る。働き手が減ってきたので、男女共同参画社会にしようとしているのではないのでしょうか。(男性 40代)
- ・最近男女平等やライフ・ワーク・バランス等の要素を考える程の余裕がありません。夫婦共に働いていますが、共に不安定な身分で、日々の生活がやっとです。中学生の娘がおり、障害を持つ親を抱える立場の者としては、一年はおろか、一ヶ月・一日が精一杯で、先行き不安だらけの実状では、生活の質的向上など、残念ながら考える事すらできないのが現実です。(男性 40代)
- ・本来、男女共同という“ことば”を勘違いしているのではないですか？同じ事をするから平等と思っいるのであれば、男も子供を産まないといけなくなるな！女性が積極的に社会に出て仕事をするは大いに結構な事ですが、公務員関係に携わる人以外、一般の事業所で「やれ産休だ」「やれ育児休暇」と云われ、それを「はい、どうぞ」というだけの儲けている事業所はいくつありますか？今や「ほんずない」男の世の中で女が働くもので、だんだん男の仕事がなくなっている。それが現実です。そのうち男は家事、女は仕事！となると、笑っちゃうね！本当の平等。男と女の特性を生かして、お互い協力し合い、世の中を生きていく。それにつきると思います。(男性 50代)
- ・現在、運送業です。最低賃金ギリギリの重労働と荷主様々の現実。若い人らでも大変です。法律にふれないギリギリの仕事!!法律を変えるしかないかも、最近何のための誰のための「日本国憲法」なのか、法律は国民を守ってくれてないね。私だけでしょうか？この先、日本人は日本はどうなるのでしょうか。私らの仕事では、女性ドライバーはほんとにつらい仕事していますよ。(男性 50代)
- ・女性の能力や経営意識を高める。(男性 50代)
- ・男女共同参画社会は、必ずしも女性が働くということではないと思う。働いていなくても、それぞれの立場で社会参画するということでも良いのではないか。夫婦の場合、色々な形があって良いと思う。(男性 60代)
- ・厳しい経済環境の中、企業に余裕がなく、雇用改善がなされていない。ワークシェアリングが注目されているが、実現は難しい。(一時的には、実施はされている)(男性 60代)
- ・男女共に、働く場所と子供を安心して、預けられる施設の充実を優先していただきたい。(男性 60代)

## 5 男女共同参画の制度や施策に関する意見

### <女性>

- ・出生率を上げたいのであれば、子どもが産まれてからの生活のカバーやバックアップ、また出産した女性が社会復帰しやすい仕組みを、企業・県・国で連携してつくって欲しい。トップの考えが変わらなければ、何も変化はしないと思う。気持ちも体も金銭的にも余裕のある生活ができれば、今よりもっともっと良くなる!!(女性 20代)
- ・出生率を上げたいのであれば、子どもが産まれてからの生活のカバーやバックアップ、また出産した女性が社会復帰しやすい仕組みを、企業・県・国で連携してつくって欲しい。トップの考えが変わらなければ、何も変化はしないと思う。気持ちも体も金銭的にも余裕のある生活ができれば、今よりもっともっと良くなる!!(女性 20代)
- ・私は産前・産後休暇取得のみで仕事に復帰しました。この世の中、給料は低いし、女性はなかなか社員にしない。子育てしながらも、(お金を稼ぐ為)仕事もしなければ生きていけません。会社は1ヶ月だけの希望の育休もくれず・・・(けっこう大手ですが)めまいしながらも頑張っています。一人っ子もかわいそうだし、せめてあと一人子供は欲しいのですが、まだまだ金銭的にも、体力的にも無理です。女性でも

社員になれる世の中、そして育児支援、ぜひとも力を入れて欲しいです。(女性 20代)

- ・職場に保育スペースを設ける。(理想は保育所付き)出産費用をもっと助成できないのか?保育料が高い。(保育園に入れるために女性がパートをフルタイムでの仕事をする必要が出てくる)児童手当等、もっと増やして欲しい。(女性 20代)
- ・やはり世間は男性が、育児を行うことについては、まだまだ周知されずにいるんだと感じています。自分の会社では、まだまだ男性が育児に専念する為、休暇をもらうという事は考えられていません。しかし、女性の管理職が多いので、今後どうなるのかな?と思っています。(女性 20代)
- ・結婚や出産により退職ではなく、休職という形をもっと取りやすいようにしてもらえれば、女性としてありがたい。法律上はそのような形もあるのだろうが、実際は機能していないと思う。(女性 20代)
- ・アンケート用紙が届くまで“男女共同参画”という言葉聞いたことがありませんでした。答えていくうちに内容はわかりましたが、“実現に向けて”と言われてもどうやって行けばいいのかハッキリしませんでした。(女性 20代)
- ・ただ制度を作っても結局守られないのでは?という思いでいっぱいです。不景気で人員も削られ、給料も削られ正直共働きでも子供を育てていくには辛い状況です。青森県は景気が良くないので会社の社長などトップの人の考えが変わらない限り、今の状態は続いていくと思います。一番の解決策は景気回復だと思います。(女性 20代)
- ・企業としては、昔の正月のように元旦だけは一斉にどこも休みをとっていたように月に一度でも、誰もが休んでもおかしくない日があるといいと思う。その為には法改正が必要だと思う。国レベルで真剣に取り組んでももらわないと、いつまでたっても子供を産みやすくはならないし、仕事に追われる毎日で終わってしまいそうだと思う。もっと心にゆとりを持って生活ができるといいと思う。(女性 30代)
- ・これまでの社会通念上の「家庭・家族」を前提として男女共同参画を推進すると、社会の中で居場所を失う者が多く現れるのでは、と心配だ。男女平等を唱うよりも、今後は個人を個人として社会の中で同等に認め合うよう啓発を進めるべきだと思う。(女性 30代)
- ・男女共同参画社会の実現には、何よりも各人の意識改革が必要だと思います。それが、地域や社会など、より大きな単位での男女共同参画につながっていくのではないのでしょうか。残念ながら、現状では保守的な考え方が根強く、男女共同参画社会には程遠いと言わざるをえません。こうした状況が、一朝一夕で変化するとは思いませんが、こうした問題に粘り強く取り組み、一步一步着実に変化させていく必要があると考えています。(女性 30代)
- ・例えば、優良企業に助成金を支給するとして、不正が行われないか、心配である。育児を理由に、適当に不当解雇できない世の中にするべきだと思う。(女性 40代)
- ・世の中が景気が悪く、なかなか男女共同参画社会の実現に向かっていかないと思う。ゆとりがあり、子育て支援も充実し、なお給与にも少しでも余裕がないと実現しない。仕事は第一優先であり、フレックス・育休・介護休などが本当にとりやすくなければならない。年次休暇もままならないこの今。なんだか遠い感じがします。(女性 40代)
- ・男女平等でない社会には反対ですが、月齢の低い赤ちゃんを長時間、保育所へ預けてまで母親が外で働くことにも危惧を感じます。保育所を利用したり、自宅で子供をみながら在宅で仕事を続けてきましたが、どれもこれも中途半端です。私自身も北欧のように、男女共に長時間の育児休業をきがねなく取り、2~3才までは両親(又はどちらか)の愛情をしっかりと受けて育ち、母親もその後は、フルタイムの仕事へ戻る。子供が心豊かに育つことが、豊かな社会へつながると思います。(女性 40代)
- ・ワーク・ライフ・バランスを考える上で、一般企業、青森県の賃金を基準に考えてPRして下さい。公務員の賃金にはとてもおよばず、家庭を優先したいが、働かざるを得ない。安い賃金で仕事をしている。仕事を優先にしなければならない現状があることをわかって欲しいと思います。正職員になりたくても、年齢制限によりなれず、臨時職員のまま正職員と何も変わらない仕事をしている現状。もちろん賃金にお

- いても格差があります。年収が200万円程度ですべてやり、ムリ(住宅ローン含む)しなければならない現状。ワーク・ライフ・バランスをうまく取ることもできない現状です。苦しい生活です。(女性 40代)
- ・女性の多い職場では産休をとる人が多いが、企業としては長くとらせてあげたいと思っています。しかし、休んでいる間の人補充が一番難しいところです。産休だけ、働いてくれる人(半年~1年)「子育てお助け人」がいてくれば、会社も休んでいる人も安心して、産休を乗り切れると思います。そして、その助成金もあれば会社側の負担も減り、進んで取り組むことが出来ると思う。(女性 40代)
  - ・企業のトップを集めて勉強させる必要がある。自分だけ儲ければいいという考え方が先行して社員の生活を無視している人があまりにも多いと思う。(女性 50代)
  - ・実現不可能、そして無駄な努力だと思います。(女性 50代)
  - ・男女共同参画といっても具体的にどんな事をしているのかわからない。(女性 50代)
  - ・男女共同参画の実現に向けて、色々な施策を考えているのかもしれませんが、意識改革から始めなければ、まだまだ男女別に根強い物が残っていると思われます。(女性 50代)
  - ・私達は日頃思っている不満をかかえながら、どこに相談したら良いかもわからずにおります。こうしたアンケートなどによって少しでも改善の糸口につながればと思います。小さい企業ほど、こういうアンケートの必要があると思います。(女性 50代)
  - ・男女共同参画。言葉は良く聞きますが、これと言って、何をしているのか目に見えてきてませんでした。(女性 50代)
  - ・内閣府男女共同参画会議「仕事と生活の調和に関する専門調査会」専門委員でもある勝間和代氏がなぜにベストセラーを生み出し、様々な場面で活躍されているのか？それは、年齢や性別に関係なく、考えることの出来る人達が「インディペンデントな生き方」を望んでいるからなのだと私は思うからです。人は沢山の事を感じ、思います。ただし、その内容が「意見」なのか、「文句」なのか、「愚痴」なのか、まずは自分の中で整理できる事が大切なのではないでしょうか。個人の基礎の積み重ねがサークルであったり、より大きな団体となり、社会といわれるものになる。まずは、県・市議員の皆さま、「男女共同参画社会」のサンプルとなっていますか？(女性 50代)
  - ・広報はよく見っていますが、ちょっと上から目線で、一部の活動かな？という思いでいるのは私だけでしょうか。もっと一般にアピール出来るといいですね。(女性 50代)
  - ・男女共同参画社会という言葉自体があまりイメージがわからない。どこか無理をしている感じがする。(女性 60代)
  - ・職種別に活動している人達にもっと声かけして機会があったら色々な方向からの意見交換した方が良いと思います。まだ一部の学識経験だけの男女共同参画だけが語られている様にしかみえませんが？まだまだいろんな人材の方々がいると思いますが、もっとまわりを見回してほしいと思います。私もボランティア活動している一人ですが!!(女性 60代)
  - ・テレビ・ラジオからの情報提供をもっと。(女性 60代)
  - ・アンケートをとって、これをどのようにするのか、机の上で事務的な事だけを考え、現場で働く人々を実際、自分の目で観ること(百聞は一見に...)が、大切なのではないでしょうか。実体験も必要。(女性 60代)
  - ・私的には、男女共同参画社会の実現は、必要以上になされていると思う。お役人の為に考え出された男女雇用均等法の為に、女性が自立出来る為、結婚しない女性・男性が増えて、子供を産み育てる人が減少し、何十年・何百年かすると日本が滅亡するのではと危惧している。(女性 60代)
  - ・活動の内容がわからない。弘前市男女共同参画センターでの活動が知られていないと思います。利用されていないと思いますので、PRが必要です。(女性 70代)

## <男性>

- ・母子家庭に対して、父子家庭の扱いが不十分だと思います。(男性 20代)
- ・企業や行政機関のトップが男女共同参画社会に向けて意識しない限り、何も変わらない。(男性 20代)
- ・パラメーターの違う男と女が、同じことで競うケースを何度か見ました。早い段階で人と人(男と女)がコミュニケーションを図り、何かに気づき、自らの進む道を主体的に選べるような施策はないでしょうか。日本国のインターネット普及とIT化の弊害として、コミュニケーション能力のない人間が増えていると思います。基本的な「人間力」とでも言うべきものを育む土壌作りに特化して欲しいです。(男性 20代)
- ・他県にない制度をつくり、マネをされる青森県にして欲しい。(男性 30代)
- ・男女共同参画社会の実現は青森県にはムリだと思います。体質が古い!(男性 30代)
- ・結果の平等ではなく、機会の平等を目指していくのであればよいと思うが、結果の平等を求める声も多くきかれるので、女性が社会進出するという事は、責任や苦悩も伴うこともきちんとPRして欲しい。専業主婦(夫)をしたいという人もそれなりの数が存在するので、そうした人達に関しては、就職せずに家事・育児に専念する。という選択肢が与えられるのが、真の男女共同参画社会だと思う。(男性 30代)
- ・正直、まだ男女差別はあると思う。県自ら模範となり、今まで以上に活動に力を入れてほしい。今のところあまり実感できてない。青森県が全国のモデルとなるように頑張ってもらいたい。(男性 30代)
- ・青森県は貧乏な県です。こんなアンケートより先にやるべき事がある。「津軽でリンゴが大変」→「リンゴで食えないのに何故しがみつく」→「県が何かあれば補助してくれるから」何かまちがっている。リンゴで食えないなら、他の業種へとか必要。サラリーマンはそういう苦労ばかりですよ。「農業でも食べられない」「サラリーマンでも大変」だったら、県のプロの皆さんが考えて!その為に県庁に入ったのでしょうか。自分たちのせいでない。と思っている県の役人がダメ!意見を反映させていくためのプロの集団。それが役人だし、だから税金が使われている!男女共同参画ができる状態でないでしょう。青森県は!(男性 40代)
- ・男女共同参画など夢のまた夢です。行政に携わる方々、もっといろいろな方々の現実を見てから物事を計画されてはいかがですか。(男性 40代)
- ・現実に来る施策から始めましょう。ラジオでも流してみましょ。インターネットも活用して。(男性 40代)
- ・道徳的に保守的な人達が(特に政治家)、昔からの規範を最善のものとして、他の人達に押しつけてくるのが問題だと思う。昔に比べてモラルが低下しているという論者たちは、昔と今の何を比べて、どれだけ低下したのか数字やグラフで示すべきだろう。調べないでイメージで語っているのではないか。家庭教育力の低下と言うが、昔は子供をエンツコに入れて育てて、子供におもりをさせてたではないか。「昔は良かった」という幻想を捨て去ることがまず大事。(男性 40代)
- ・男女共同参画社会の問題点は、格差社会形成の温床となる様な偏在的な所得(家庭所得)が経済的に循環されるならば、一部所得階層のみの問題に帰結しており、非正規労働者やパート労働者を含む包括的な社会問題として確立させる必要があると思う。根本的には、国家の強力な指導の下で、北欧型の福祉社会のモラルある経営資本形態に強制的に変革させる方法が素速いと思う。しかし、不況下の一時的なワークシェアリングとして、一時的に社会に導入を促し、認知度を高めて教育的な手段として、必要性を訴える方法もあると思う。しかし、根本的には、経営者サイドが、労働者のスキルを高め、企業などにとって、必要不可欠な労働者に育成して、育児や教育における期間を重要視し、自由度を高めた労働形態を創造することも肝要ではないかと思う。各種啓発活動も大切であるが、勇断を持って、各種権利を行使できる、青年・男・女の後押しをすることこそ、誠意ある対応だと思う。そして、その人達から理解のある経営者や指導者が生まれ社会を導く事こそ、望ましい事だと思う。(男性 40代)
- ・男女共同参画社会実現には、アンケートもいいけど、実情体験しろ。机の上からは、何も生まれないかも?(男性 50代)



- ・男女共同参画という施策があると言う事自体、初めて知りました。もっとPRしてほしいです。(男性 50代)
- ・「雇用機会均等法」ができて、まだまだ女性達が差別されている。男性も変化してきているが、まだまだ「男は仕事、女は家庭」という意識が強い。「現在の憲法」が生かされていない。やはり政治を変えなければならない。(男性 50代)
- ・男女雇用機会均等法が実現され、深夜勤務なのですか。独身女性でも深夜1時頃まで仕事ができ、おかげで男性は深夜残業が少なくなり、大変困っている。女性は9時頃までと法律で決めれば女性の負担も少なくなり、男性も深夜勤務が増え、家計を支えるのに助かるのだが？(男性 50代)
- ・家庭も子供もほしい。そして仕事もしていきたい。能力も認めてほしい。と社会全体・企業、そして社長・幹部達も考え方を変えなければ出来ない。県の指導がもっとも重要になってくると思うし、実際県の職場は女性に対して十分理解して、認めていますか？県・職場から、見本になってほしい。能力ある人物は埋もれていないかな？(男性 50代)
- ・日本は合理的でないやり方が多すぎる。子育てと女性の就業を両立させるには、きちんと設備の整った環境の良い保育施設(公・民間問わず)を十分に設備することが最も重要。(男性 50代)
- ・トップの気力が感じられない。(男性 50代)
- ・男女共同参画と言われても漠然としており、普段から意識したり、考えたりしている人はあまりいないと感じます。条例・プラン21について、具体的には私も知りません。(男性 50代)
- ・「男女共同参画社会」という割合に実現性にとぼしい。(男性 60代)
- ・官公庁については、努力して進んでいると思う。一般企業は、まだ遅れていると感じている。(男性 60代)
- ・男女共同参画社会をイメージして、まずは出来るだけ様々な人達との交流を深め、お互いを理解することが必要と日頃感じています。(男性 60代)
- ・実現しなければならない意識と実行できない現実をしっかりと把握する必要がある。(男性 60代)
- ・一般的に設問が型にはめ過ぎと思う。男女共同参画社会について行政がもう少し柔軟に考えて良いのではないか。(男性 60代)
- ・今の介護休暇制度は仮に取ったとしても生活が成り立たない。制度自体に不備があり、早急に改善が必要。(男性 60代)
- ・出産のために一時、職場を辞めてしまえば、自分の勤めたい仕事がない。保育所・学童保育の外に急な子供の病気などの時の対応方法があると安心して働け、職場にもあまり迷惑をかけたくないという日頃からの不安が薄れると思います。職場で理解があるとはいえ、急な時の対応があればと思います。男の人に急に仕事に穴をあけるといつまでもやはり女はダメだと言われてそうですし、自分も仕事と子育ては難しいとついついその場をのりきれなくなると思います。(男性 60代)
- ・「男女共同参画」は素晴らしい計画で、これからの社会・家庭・後継者が安心して生活し未来を築いて行くことと思います。(男性 70代)
- ・日頃、男女共同参画社会がさげばれていますが、個人はもとより、社会全体が男女共同参画社会を理解し、実現に向けて決断しなければ遠い昔の話になると思います。自身はこれらを理解し、特に家庭内では実行しているところです。(男性 70代)

## 6 セクシュアル・ハラスメントに関する意見

### <女性>

- ・どこからどこまでがセクハラですか？人によって感じ方が違うので、「髪切ったね」や容姿に関わる事を言われたとしても、私はセクハラとは思わない。敏感になりすぎる風潮もよくない気がする。(女性 20代)
- ・どちらかと言うと、セクハラと騒ぐ人には「少し過敏では!?!」と感じます。受け流す事は生活する上でとても重要な事だと思います。(女性 20代)
- ・仕事での、若い女性には(ちゃん付けで言い、甘えた声で話す)とても親切に仕事を教えていると、年配女性には(下品な言葉でののしられる、叫ばれる、荒々しい態度になる)など、言葉の違い。同じ女性でも、見かけ上とか年齢によって、とても差別があります。一番多いのは言葉です。誰にされるかといえば、男性の上司と同僚です。パワーハラスメントと思われる事もたびたびあります。男性としての気持ちは、わからなくはないが、仕事は仕事でしょう!!(女性 40代)
- ・(セクシュアル・ハラスメント(=性的嫌がらせ)とは、「相手が望まない性的な言動により相手方の生活環境を害すること、または性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えること」と言われています。あなたは、いままでに職場や学校などで次のような経験はありますか)は①~⑥に○をつけましたが、セクハラだとは思っていません。それが、仕事だと思っていますから。(女性 40代)
- ・セクハラにしても同様、本人がセクハラと認識しない限り、セクハラではない。しかし、TV等は、「平等」「セクハラ」という言葉を繰り返す。どちらかと言うと、女尊男卑という感じがする。(女性 40代)
- ・本人の感情の中で性的ジョークが嫌な人はセクハラだと感じるし、女のくせに、男のくせにと気にする人はセクハラだと感じるし、過剰反応する人は間違いで体が触れたのをセクハラだと感じるし、お酌もダンスも好きな人もいるし、結婚も自分の為と思う人もいるし、容姿も気にしない人もいる。その人の感じ方だと思うのであまりセクハラだと騒ぎ過ぎる。(女性 40代)

## 7 ドメスティック・バイオレンスに関する意見

### <女性>

- ・DVの加害者側にも、ケアが必要なのでは…(カウンセリングなど)。被害者にはもちろんケアが必要ですが、両方にケアする事で少しでもDVが減ってくれば良いと思います。(女性 40代)

## 8 ワーク・ライフ・バランスに関する意見

### <女性>

- ・私は結婚するまで仕事を続けていたが、その当時の仕事量の多さでは家庭生活との両立は無理だと判断し、自分の希望で退職した。職種にもよると思うが、1人にのしかかる仕事の多さを改善していかなければならないと感じた。(女性 20代)
- ・仕事・育児・家事が夫婦で協力できるようになるのはとても嬉しい事だと思います。(女性 20代)
- ・男女共同参画社会といっても、人には得意不得意があり、いちがいに言えないと思う。ワーク・ライフ・バランスという言葉は初めてですが、要するに仕事も家庭も共同で、得意分野を担当していけば良いと思う。そのためには、男女共にどちらが行なっても良いような社会の目も変化して行ってほしい。いくら平等にとっても体力的にも男と女では違うため、互いをかばいあって出来ることをどちらでもやっていくというスタイルが良いと思います。(女性 40代)
- ・東京で生活している息子の給料は、まあまあですが、仕事・仕事と自分の家族サービスは時間がなく休養も少ない。反対に娘の方は、給料が少なく、生活するのが精一杯で家族で出かけるような事がかぎられてしまう。家賃が高い為で住宅事情も関係あると思います。(女性 60代)

### <男性>

- ・男も女も差別なく働けて、子育ても夫婦で出来る、無理のない自然なかたちのワーク・ライフ・バランスが実現されれば良いと思います。この不況下、青森県で暮らしていく為、住みやすい県にしてほしい。障害者の暮らしやすい県にして欲しい。お年寄りにも優しい(経済的にも)県にして欲しい。(男性 40代)
- ・ワーク・ライフ・バランスの概念は、個人により温度差がある。制度化に押しつけるものではない。よって、採用している企業が好きな人は、そこへ行けば良いし、重要視していない人は、普通の企業に行けば良い。従業員で重視している人は、実現に向け会社に提案すればいい。押しつけは反感をきたしマイナスに向かう。(男性 40代)

## 9 その他の意見

### <女性>

- ・男女共同参画社会の実現の前に、景気が悪いのでこのアンケートは無意味だと思います。(女性 30代)
- ・介護の仕事はきつく、休みを取るのはあまり出来ていないと思う。介護士も人間なので、休みたい時に休日を取りやすくする環境が必要だと思います。無理に休むと、他職員に陰口をたたかれ、その場になくなくなりそうで、恐怖を感じます。(女性 30代)
- ・個々の意識改革がなければ、いくら規則を作っても企業に助成金を出しても、無駄だと思う。まずは、仕事と自分(家庭)の2つが精神的・肉体的に両立されるような取り組みが必要だと思う。仕事のマンパワー不足解消・休日の確保・年休の確保・フレキシブルな時間の使い方(フレックスタイム)何事もやってみて。あまり大きくお金をつぎこまなくてもよいように(何かやって失敗すると損失が大きすぎるため)日本人にはなかなか根付かないところを特別休暇〇〇カ月とかできるようになれば、また違うのかも。しかし、お金がないと何ともならない。給与で正しく評価してほしい。(企業側も)仕事のモチベーションUP。家庭の大切さ。(女性 40代)
- ・生活に余裕が出ると、家庭不和も減少するのではないかと思うので、職の確保が出来るように県でも取り組んでほしい(失業者を減らす)。(女性 40代)
- ・パートにはまだまだ雇用条件が悪く、仕事内容に対しての賃金の低さも問題です。若い人達が「気持ち」にゆとりを持って仕事・育児に、老人は経済的・身体的な不安なく暮らせる社会環境になってほしいものです。何でも「お金お金」の世の中になってきて悲しいものですが、格差もなくする社会でなくてはいい

ません！！（女性 50 代）

- ・子育てが一段落している私にとって、今までは無我夢中でした。「男女共同参画社会」とても、大切な事だと思います。幸運にも、自営業手伝いだった時期は、仕事にも恵まれ子育ても十分時間と愛情がかけられ、現在は社会人 1 人、大学生 2 人まで成長してくれました。生活の基本は、賃金。中小企業にとって、仕事がない事が、とても大変な事で「質の良い子育て」も、みんなが「子育て」に協力出来るのも、やはり仕事が安定してなくてはいけないと思います。県が、良い生活環境を考えるのなら、企業に仕事を与える事も考えてほしいと思います。（女性 50 代）
- ・女性が結婚・出産後も働き続けたり、再就職出来る社会を早く実現してほしい！それでなくても、今は若い男性でも働きたくても仕事がないのだから、変な世の中ですね！（女性 50 代）
- ・バランスのとれた、クリーンな社会・人間作りをし、住みよい明るい未来を子供達にと願っているところです。大人がお手本になれる様、実現に向けてご活躍下さることをお願い致します。（女性 60 代）
- ・年金生活なのに税金を払うとほとんど残らず、生活に困っています。もっと税金を安くお願いします。（女性 60 代）
- ・私は何にも出来ませんが、若い人が一生懸命なので、喜ばしいことだと思っております。（女性 60 代）
- ・テレビ等の放送は影響が大きいと思いますので注意してほしいです。腹の立つことが多いです。（女性 60 代）
- ・パートや、時給など不安定な生活環境で、将来への不安の中、一生懸命頑張っている若者達を身近に見ていると、ギリギリの年金生活でも仕方ないかなと、日々節約節約に明け暮れています。若者が生活安定できる様、政治の力を期待しています。（女性 60 代）
- ・私は現在 87 才。戦前戦後の生活した者には、考えられない程恵まれている。不満をいうならきりがないと思う。現代人には奉仕的な考えが不足している。まわりを見るといやになる時がある。現在息子夫婦と 3 人暮らしですが、お互い勤めもあるので私なりに出来ることはやっています。私は、助産婦・看護婦・保健婦として働きました。このアンケートには理解出来ない点がありましたが、一応記入しました。（女性 70 代）
- ・今の世の中、大変な世の中になりました。毎日テレビや新聞を見ているが、事件ばかりで大変な世の中。女も男も自分から心大切に见守る事が一番でないでしょうかと思います。（女性 70 代）
- ・私は高齢者で子供も 3 人いますが、体が弱いので仕事をしていても病院通いが続いているうちに、ついに失業してしまいました。長男は職業につくことが出来ないの困っています。職場も仕事出来る人は役付にして行くべきだと思います。何により、今は一度職を失うと、なかなか次の職がないので困っている人が多い、親の年金で生きている人達も多い世の中です。（女性 70 代）
- ・20 代から年金を納め、農業一筋。今は年金少々それに介護保険、後期高齢者医療被保険がひかれ、とても苦しいです。よろしくお願いします。（女性 70 代）

## <男性>

- ・調査票においてなぜ横文字なの？ワーク・ライフ・バランス(日本語の仕事と生活の調和)でよいのではないか。私はインターネットをつけていません。調査を発送した人には、報告書を送ってもよいのではないのでしょうか。外部の会社へ、集計・分析を委託しなければ、上記の金額などいくらでも出るのでしょ。役人が行えば、税金も少なくすむでしょ。3000 の調査の分析に 4 カ月もかけてやるなんて、民間には考えられない遅さですね。（男性 40 代）
- ・県営住宅にいますのですが、高い県営住宅料を払い朝の月 1 回の清掃はきついです。(出なければ 2000 円払う)もう少し県の方で考えてほしいです。高い給料でないのに、県営住宅料が高い。安心して働けるためにも下げてほしい。（男性 50 代）
- ・私は 59 才男性ですが、今仕事を探しておりますが、その中で目立つのは「何でも(経験者)である」(例)

大型自動車の免許があっても、そのとおりである。では、どこで経験をすれば良いのですか？ですから、昔やった「見習い期間」を会社でやってほしい。その分の経費は国で、と思います。（男性 50 代）

- 青森県内で大手企業が八戸と弘前に片寄りすぎている。例、県庁所在地に大手企業従業員 2000 人を有する企業が全くない。町村の地域を見たとき、誘致企業は多々有するけど 99%が中小企業郡の工場だけでは、県民の所得が上がらない。また全体として働き場所の改善が出来ない。県民の所得向上には中央の大手企業 1 社でも持って来る事がどれだけ県民の年収が期待できるとか考えてほしい。私は、他県で大手企業で定年退職し、夫婦で故郷に帰ってきましたが、県民の収入の少ないのにはびっくりです。小さい企業を多く作っても効果はゼロに近い。経済不況ですぐ撤収企業に結びつく。中央の定年退職者を、どうやったら故郷に住み移らせるか、真剣に県・市は考えてほしいです。（男性 60 代）
- 地方経済の上昇化・雇用の場の拡大確保。県・その他の行政体の財源確保。一次産業からの脱却。都市部と地方の社会構造全般に格差拡大しハンデ戦である。（男性 60 代）
- 男女共同参画社会をテーマとして論じられているのは、生きている間の事柄に限られ、死後の供養のあり方については、意識的に取りあげられてこなかったし、今回のアンケートの調査項目についてみても、またしかりである。1/3 が離婚、1/4 が再婚、さらには生涯独身で過ごす生き方を選択する人が増加している。こういう時代にあって、伝統的な日本の墓地のあり方、----先祖代々の墓とか、----家の墓では、カバー出来ないのではないか。個人単位の墓地、すなわち個人の最終意見を尊重する墓地も、これからの時代の要請ではないか。と考え、仏教の代表役員ではあるが、宗教・宗派を問わない霊園を県外に設置し、世に訴えていく所存です。問題意識は、当該県条例やプラン 21 と同じ方向にあるものと思っています。（男性 60 代）
- 企業が助成金を支給されているのに、従業員の給料の延滞など、未だにもらえてない話を聞く。（男性 70 代）
- 私は介護・育児総て経験しましたが、一番苦勞したのが、認知症の介護である。社会的に援助を充実させる必要があると思われる。最近、隣近所の交流が希薄になってきている。阪神大震災の場合、警察・消防・行政は頼りにならなかった、救助したのは隣近所でした。頼りになるのが隣近所の人々と思うのだが、現在はプライバシーが障害になっている。私は常に隣近所とは仲良くしなさいと言っている。（男性 70 代）

# 参考資料

\*「青森県男女共同参画に関する意識調査」へのご協力のお願いについて（依頼文書）

\*調査票

平成21年7月

県民各位

青森県環境生活部長  
(公印省略)

「青森県男女共同参画に関する意識調査」へのご協力のお願いについて

日頃から、県民の皆様には県行政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県では、平成13年6月に制定した「青森県男女共同参画推進条例」や平成19年3月に策定した「新あおもり男女共同参画プラン21」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて各種施策を推進しているところです。

このたび、県民の皆様の男女共同参画に関するお考えやご意見を今後の施策に反映させるため、「青森県男女共同参画に関する意識調査」を実施することといたしました。

調査の実施に当たり、適正な手続きを経て住民基本台帳より3,000人を無作為抽出した結果、そのお一人として、あなたにアンケートの回答をお願いすることとなりました。

つきましては、ご多用のことと存じますが、本調査にご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

(留意事項)

- 1 本調査の趣旨及び実施方法についてのご質問は、青森県環境生活部青少年・男女共同参画課男女共同参画グループまでお願いします。
- 2 本調査の集計と分析は外部の調査機関（協同組合プランニングネットワーク東北/青森市）に委託しています。調査票記入上のご質問は、協同組合プランニングネットワーク東北までお願いします。
- 3 本調査は、無記名による調査であり、個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されること、また、本調査の目的以外に使用されることは一切ありません。忌憚のないご意見をお寄せ下さい。
- 4 なお、本調査の結果は平成22年1月頃に報告書にまとめ、県のホームページ等に公表する予定です。

【お問い合わせ先】

- ・青森県環境生活部青少年・男女共同参画課  
男女共同参画グループ  
電話：017-734-9228
- ・協同組合プランニングネットワーク東北  
電話：017-723-7630

## アンケートにお答えいただきみなさまへ

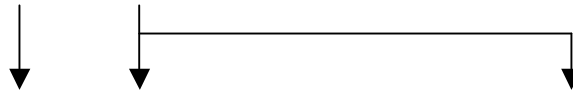
- ・各設問には<1つだけ>、<3つまで>、<いくつでも>、<あてはまるものすべて>等指定がありますので、それぞれの指示によりご回答下さい。
- ・回答が済みましたら、このアンケート票のみを3つに折って同封の封筒に入れ、ポストに投函して下さい。切手をはる必要はありません。

ご回答は8月1日（土）までにお願いします。

A. 性別      1 女性      2 男性

B. 居住地 お住まいの市町村をお書き下さい。 \_\_\_\_\_ 市 町 村

C. 配偶者の有無   1 無      2 有      (「有」の場合は以下の右側の欄も御記入ください。)



### あなたのこと

D. 年齢

1	20歳代	4	50歳代
2	30歳代	5	60歳代
3	40歳代	6	70歳代以上

E. 職業（主なもの1つを選んでください）

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 会社・団体役員
- 4 給与所得者
- 5 パート・アルバイト
- 6 学生
- 7 専業主婦（主夫）
- 8 無職

F. あなたの年収（年金含む）

- 1 なし
- 2 100万円未満
- 3 100万円～300万円未満
- 4 300万円～500万円未満
- 5 500万円以上

### 配偶者のこと

G. 年齢

0	20歳未満		
1	20歳代	4	50歳代
2	30歳代	5	60歳代
3	40歳代	6	70歳代以上

H. 職業（主なもの1つを選んでください）

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 会社・団体役員
- 4 給与所得者
- 5 パート・アルバイト
- 6 学生
- 7 専業主婦（主夫）
- 8 無職

I. 配偶者の年収（年金含む）

- 1 なし
- 2 100万円未満
- 3 100万円～300万円未満
- 4 300万円～500万円未満
- 5 500万円以上

J. 子どもはいますか？      1 いる      2 いない



1 男女平等について

問1 あなたは、次のアからキまでの分野で男女が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について1から6の中からあなたのお考えに近いものの番号に○をつけてください。(1つずつ)

	男性優位	やや男性優位	平等	やや女性優位	女性優位	わからない
ア 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
イ 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
エ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
オ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
カ 社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
キ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方にあなたは同感ですか。(1つだけに○)

- 1 同感する                      2 どちらともいえない                      3 同感しない

問3 今後、男女が社会のあらゆる分野で平等になるために重要だと思うことは何ですか。次の項目についてあなたのお考えに近いものの番号に○をつけて下さい。(1つずつ)

	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない
ア 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別に……… つながるものを改めること	1	2	3	4	5
イ 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会……… 通念、慣習・しきたりを改めること	1	2	3	4	5
ウ 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を得る……… など、積極的に能力の向上を図ること	1	2	3	4	5
エ 女性の就業、社会参画を支援する施設やサービ……… スの充実を図ること	1	2	3	4	5
オ 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性……… を登用する制度を設けること	1	2	3	4	5
カ 男性に対する家事・育児などの学習機会を設けること…	1	2	3	4	5
キ 男性の育児・介護休業の取得を促進すること………	1	2	3	4	5

## 2 結婚・家庭に関することがらについて

問4 あなたは、今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。必要だと思うものに○をつけて下さい。  
(3つまで)

- 1 子どもの時から男女平等意識を育てる
- 2 男女の固定的な役割分担意識をなくするための啓発活動を進める
- 3 男性が仕事中心の考え方を改め、家事・育児などに参加しやすくする
- 4 男性が家事・育児などに参加することに対する女性側の抵抗感をなくす
- 5 男性が育児・介護休業をとりやすいよう普及啓発を図る
- 6 企業が男女ともに仕事と家庭生活を両立できる職場環境を整える
- 7 労働時間を短縮して早く家庭に帰れるようにする
- 8 フレックスタイム（勤務時間を自主的に決める）や在宅勤務を普及させる
- 9 仕事と家庭生活の両立などの問題について気軽に相談できる窓口を設ける
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 11 わからない

問5 既婚者（事実婚を含む）のみにお聞きします。

あなたの家庭では、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。（1つだけ）

- 1 夫が家計を支え、妻が家事・育児などに専念する
- 2 妻が家計を支え、夫が家事・育児などに専念する
- 3 夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児などを分担する
- 4 夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児などを分担する
- 5 夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児などを分担する
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

問6 あなたの理想としては、夫婦の役割分担はどのようにするのがよいと思いますか。  
(1つだけ)

- 1 夫が家計を支え、妻が家事・育児などに専念する
- 2 妻が家計を支え、夫が家事・育児などに専念する
- 3 夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児などを分担する
- 4 夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児などを分担する
- 5 夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児などを分担する
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

### 3 職業・社会参画について

問7 女性が働くことについてお聞きします。女性の働き方は、次のどれが理想だと思いますか。(1つだけ)

- 1 結婚や出産にかかわらず、ずっと職業をもつ
- 2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事をする
- 4 結婚しても子どもができるまでは職業をもち、出産後はもたない
- 5 結婚をするまでは職業をもつが、結婚後はもたない
- 6 その他(具体的に )

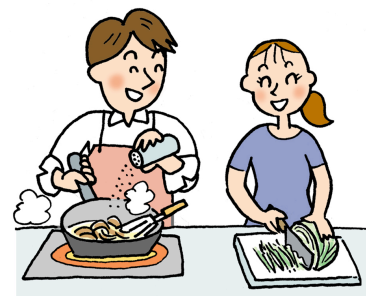
問8 あなたは、女性が結婚・出産後も働き続けたり、再就職するなど社会参画を進めるためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の項目についてあなたのお考えに近いものの番号に○をつけてください。(1つずつ)

	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない
ア 就職のためのセミナーなどの学習機会の充実……………	1	2	3	4	5
イ 再雇用制度の充実……………	1	2	3	4	5
ウ 求人情報の提供……………	1	2	3	4	5
エ 男性の家事・育児などへの参加……………	1	2	3	4	5
オ 保育所、学童保育などの子育て環境の充実……………	1	2	3	4	5
カ 家事負担の軽減……………	1	2	3	4	5
キ 労働時間の短縮や在宅勤務など自由な働き方の普及…	1	2	3	4	5
ク 育児・介護休業の普及……………	1	2	3	4	5
ケ 昇進・昇格など男女格差是正……………	1	2	3	4	5
コ パートタイマーの労働条件改善……………	1	2	3	4	5
サ 福祉施設・在宅介護サービスの充実……………	1	2	3	4	5

#### 4 子育てや教育について

問9 1人の女性が一生の間に産む子どもの数が年々減少してきていますが、原因は何だと思えますか。あてはまると思うものに○をつけてください。(いくつでも)

- 1 子どもを育てるのに経費がかかりすぎるから
- 2 子育てのための住宅事情が悪いから
- 3 育児と仕事を両立させる社会的な仕組み（育児休業・雇用条件・保育など）が整っていないから
- 4 女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇したから
- 5 子どもは少なく産んで大切に育てたいという人が増えたから
- 6 子どもより余暇の充実が大切だと考える人が増えたから
- 7 子どもより仕事大切だと考える人が増えたから
- 8 結婚を希望しない人が増えたから
- 9 出産や育児に対する男性（夫）の理解・協力が足りず、女性（妻）の精神的・肉体的負担が大きいため
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )



後半もよろしくお願いします。

5 セクシュアル・ハラスメントについて

問10 テレビ、映画、新聞、雑誌などメディアにおける男女の表現について、あなたはどのように思いますか。次の項目についてあなたのお考えに近いものの番号に○をつけてください。(1つずつ)

	その通り	ややその通り	どちらともいえない	特に思わない	全く思わない
ア 性別による固定的な役割分担を助長する表現が目立つ……	1	2	3	4	5
イ 女性の性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ…	1	2	3	4	5
ウ そのような表現を望まない人や子どもの目に…… 触れないような配慮が足りない	1	2	3	4	5
エ 女性に対する犯罪を助長するおそれがある……	1	2	3	4	5
オ 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている……	1	2	3	4	5

問11 セクシュアル・ハラスメント(=性的嫌がらせ)とは、「相手が望まない性的な言動により相手方の生活環境を害すること、または性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えること」と言われています。あなたは、いままでに職場や学校などで次のような経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 性的ジョークを聞かされた
- 2 「女のくせに」、「男のくせに」など差別的な言い方をされた
- 3 体をさわられた
- 4 お酌やダンスの強要
- 5 結婚や出産の話題
- 6 容姿の中傷
- 7 電車内や路上の痴漢
- 8 セクハラを受けたことがない
- 9 その他(具体的に )

6 ドメスティック・バイオレンスについて

問12 あなたは配偶者からの暴力について、相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 警察
- 2 法務局、人権擁護委員、民生委員
- 3 女性相談所、各地方福祉事務所、婦人相談員
- 4 女性のための総合的な施設（男女共同参画センター）
- 5 県庁
- 6 市役所、町村役場
- 7 裁判所、法テラス
- 8 民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）
- 9 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 10 相談できる窓口として知っているところはない。

<結婚しているか、または結婚したことのある方>

※ 問13～問16は現在結婚（事実婚や別居中を含む）しているか、または過去に結婚したことのある方のみお答え下さい。それ以外の方は問17へお進みください。

問13 あなたはこれまでに、配偶者（事実婚や別居中を含む）から、次のようなことを<①したこと>または<②されたこと>はありますか。(①②それぞれ1つずつに○)

	<①したこと>				<②されたこと>			
	何 度 も あ っ た	1. 2 度 あ っ た	ま っ た く な い	覚 え て い な い	何 度 も あ っ た	1. 2 度 あ っ た	ま っ た く な い	覚 え て い な い
ア 殴る、蹴る、平手で打つ	1	2	3	4	1	2	3	4
イ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	4	1	2	3	4
ウ いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	4	1	2	3	4
エ ポルノビデオやポルノ雑誌を無理に見せる	1	2	3	4	1	2	3	4
オ 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3	4	1	2	3	4
カ 交友関係や電話を細かく監視する、行動に干渉する	1	2	3	4	1	2	3	4
キ 生活費を渡さない	1	2	3	4	1	2	3	4
ク 金銭の用途について細かくチェックする	1	2	3	4	1	2	3	4
ケ 大声でどなる、ののしる（言葉の暴力）	1	2	3	4	1	2	3	4
コ 「誰のおかげで生活できるんだ」と言う	1	2	3	4	1	2	3	4

問 13 で、<②されたことがある>にひとつでも 1（何度もあった）、2（1，2 度あった）と答えた方に伺います。それ以外の方は問 17 へお進みください。

問 14 あなたは配偶者（事実婚や別居中を含む）から受けた行為について、誰かに相談しましたか。1 または 2 のいずれかの番号に○をつけてください。

1 相談した → 問 15 へ      2 誰にも相談していない → 問 16 へ

問 15 相談した方へ。あなたは誰（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべて）

- 1 警察
- 2 法務局、人権擁護委員、民生委員
- 3 配偶者暴力相談支援センター（女性相談所、各地方福祉事務所、男女共同参画センター）
- 4 県庁
- 5 市役所、町村役場
- 6 裁判所、法テラス
- 7 家族
- 8 友人・知人
- 9 弁護士
- 10 医師、カウンセラー
- 11 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

問 16 誰（どこ）にも相談しなかった方へ。相談しなかったのは、どうしてですか。  
<あてはまるものすべて>

- 1 誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから
- 2 はずかしくて誰にも言えなかったから
- 3 相談してもむだだと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けるのがこわかったから
- 5 担当者の対応により不快な思いをすと思ったから
- 6 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 7 世間体が悪いから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 そのことについて思い出したくなかったから
- 10 自分にも悪いところがあると思ったから
- 11 相談するほどのことではないと思ったから
- 12 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

7 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

<理想と現実>

問17 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの理想（希望）に最も近いもの、あなたの現実（現状）に最も近いものを、それぞれ1つずつ選び番号で記入してください。（現在、仕事をしていない方は仕事をしていない時の状況でお答えください。問18も同じ。）

	理 想	現 実
1 「仕事」を優先	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2 「家庭生活」を優先		
3 「地域・個人の生活」を優先		
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先		
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先		
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先		
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先		
8 わからない		

【用語の意味】

家庭生活・・・家族と過ごすこと、家事、育児、介護・看護など

地域・個人の生活・・・地域活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいなど）、学習・研究、趣味、スポーツなど

問18 「仕事」、「家庭生活」、「地域活動」、「学習・趣味・スポーツなど」、「休養」の時間は十分取れていますか。あなたの認識に最も近いものの番号に○をつけてください。

	十分 取れて いる	まあ 取れて いる	あまり 取れて いない	取 れて い ない
ア 仕事のための時間	1	2	3	4
イ 家庭生活のための時間	1	2	3	4
ウ 地域活動に参加する時間	1	2	3	4
エ 学習・趣味・スポーツなどのための時間	1	2	3	4
オ 休養のための時間	1	2	3	4



<企業の取組>

問19 ワーク・ライフ・バランスが実現された社会に近づくためには、企業による取組として、どのような取組が必要だと思いますか。次のアからチの取組の重要性について、あなたのお考えに近いものの番号に○をつけてください。

(1つずつ)

	非常に重要	重要	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない
(トップの責任)					
ア 社長や取締役が先頭に立って取り組む	1	2	3	4	5
イ 企業の中で推進する責任者を決める	1	2	3	4	5
ウ 管理職の意識改革を行う	1	2	3	4	5
エ 管理職以外の社員の意識改革を行う	1	2	3	4	5
オ ワーク・ライフ・バランスについての企業の情報を公開する	1	2	3	4	5
(仕事のやり方)					
カ 仕事の量を減らす	1	2	3	4	5
キ 無駄な業務・作業をなくす	1	2	3	4	5
ク もうからない仕事をやめる	1	2	3	4	5
ケ 年休の取得計画をつくる	1	2	3	4	5
コ 取引先や下請企業に無理な要求をしない	1	2	3	4	5
(経営者の意思決定・施策)					
サ 従業員を増やす	1	2	3	4	5
シ 給料を上げる	1	2	3	4	5
ス ノー残業デーを設ける	1	2	3	4	5
(制度)					
セ 育児休業・介護休暇をとりやすくする	1	2	3	4	5
ソ 時間短縮勤務ができるようにする(フレックスタイムなど)	1	2	3	4	5
タ 在宅勤務ができるようにする	1	2	3	4	5
チ その他(具体的に )					

問20 上のアからチまでの項目で、企業の取組として最も重要だと思うものは何ですか。1つだけ選んで下さい。

最も重要

<県の取組>

問21 ワーク・ライフ・バランスが実現された社会に近づくためには、県による取組として、どのような取組が必要だと思いますか。次のアからシの取組の重要性について、あなたの考えに近いものの番号に○をつけてください。(1つずつ)

	非常に重要	重要	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない
(啓発)					
ア ワーク・ライフ・バランスの重要性についてPRする	1	2	3	4	5
イ インターネットでワーク・ライフ・バランスについての情報を提供する	1	2	3	4	5
ウ 有名人のワーク・ライフ・バランスの実践を紹介する	1	2	3	4	5
エ 自治体がワーク・ライフ・バランスを自ら実践する	1	2	3	4	5
(企業)					
オ ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の事例を紹介する	1	2	3	4	5
カ ワーク・ライフ・バランスについての企業の情報を公開させる	1	2	3	4	5
キ ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業を表彰する	1	2	3	4	5
ク 求職者や学生にワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の情報を提供する	1	2	3	4	5
(施策)					
ケ 保育所の整備など子育て支援を拡充する	1	2	3	4	5
コ ワーク・ライフ・バランスを進める企業に助成金を支給する	1	2	3	4	5
サ ワーク・ライフ・バランスのための法規制を強化する	1	2	3	4	5
シ その他(具体的に )					

問22 上のアからシまでの項目で、県の取組として最も重要だと思うものは何ですか。1つだけ選んで下さい。

最も重要

その他、男女共同参画社会の実現に向けて、日頃感じていることなど、御自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

※ 同封の封筒に入れて **8月1日（土）までに**投函して下さい。

切手を貼る必要はありません。

# 青森県男女共同参画に関する意識調査報告書

発行 平成 21 年 12 月

青森県 青少年・男女共同参画課

〒030-8570 青森市長島 1-1-1

電話 017-734-9228 FAX 017-734-8050

<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/danjo/index.html>

(集計・分析)

協働組合プランニングネットワーク東北

〒030-0801 青森市新町 1-13-7 和田ビル

電話 017-723-7630 FAX 017-723-7631